入覚念仏楽【にゅうがくねんぶつがく】

開催場所	**行橋市大字入覚 五社八幡神社、お旅所、安楽寺、 妙見寺（お寺は年交互で実施）**
開催日	**5 月 3 日**

【芸能の概要】

入覚念仏楽は、5 月 2 日から 3 日の神幸祭の一部として 3 日に奉納。楽打ちは、お寺（年交互で平成 15 年度は妙見寺）、五社八幡神社、神事場、道楽で行われ、烏帽子をかぶった子供たちが鉦や太鼓を奏でる。楽匠（大人 2 名）、言立（小人 1 名）、頭打ち（太鼓：小人 2 名）、鉦打ち（小人 4 名）、太鼓打ち（小人 8 名）の 17 名で構成されており、奉納と道楽で隊列は変わる。詳細は不明だが、鉦のひとつに 18 世紀末の年号が入っているものがある。

【芸能の特徴】

由来については明らかではないが、楽打ちの鉦に 1791（寛政 3）年という文字が読み取れることから、1792（寛政 4）年には始まっていたと推定されている。由来として寛政元（1789・己酉）年に願を起し 7 月 6～7 日に山車、神輿、神楽、連歌、角力、楽打、流鏑馬、御先鬼を執行したとも伝わる。

第二次大戦を機に中断。昭和 47 年に地域有志によって再興された。

【使用する祭具・道具など】

鉦 4、太鼓 10。

・アクセス

JR 日豊本線「行橋駅」より車で 20 分

・周辺の観光

隼人塚古墳、水哉園跡、馬ヶ岳城跡・御所ヶ谷神籠石
今川河畔サイクリングロード
夏祭りこすもっぺ（8 月）、風鎮祭（9 月）
行橋市民文化祭（10 月）、行橋産業祭（11 月）

・近くの特産品

たにし人形、手作り博多蓬莱ジャム、カキ、梨、巨峰、桃